

令和6年度 三高時報 第3号

トップページの更新情報

新聞委員会が『三高時報』第3号を作成しました。

記事

- 令和6年度のクラスマッチが9月20日(金)に行われました。上位成績のクラスは以下の通りです。
栄えある第1位を獲得したチーム・クラスにその思いを語ってもらいました。

令和6年度クラスマッチ結果（上位3位まで）

【総合順位】

順位	第1位	第2位	第3位
総合	3年1組	2年1組	3年6組

【午前競技】

順位	第1位	第2位	第3位
ドッジボール	3年1組	2年1組	2年3組
バドミントン	3年2組	2年3組	2年4組
バレーボール	2年6組	1年5組	2年5組
卓球	2年1組	2年3組	2年K組
オセロ	1年6組	1年2組	2年6組

【午後競技】

順位	第1位	第2位	第3位
大縄飛び	3年6組	1年3組	3年1組
玉入れ	3年3組	3年1組	1年3組
綱引き（1年）	1年3組	1年K組	1年4組
綱引き（2年）	2年2組	2年4組	2年5組
綱引き（3年）	3年1組	3年6組	3年3組
リレー	2年1組	3年2組	2年3組／3年1組

1 ドッジボール〔3年1組〕

私は3年連続ドッジボールに出ていて、去年は準優勝だったので、「今年こそ優勝してやるぞっ」という気持ちでがんばりました。だから、練習のときから、作戦を立てて、本気で戦いました。本番では1試合目の相手に、ドッジボールが強い人がいたので、1試合目で負けたらどうしようかなと、正直ちょっとびびっていたのですが、みんなのおかげで勝つことができたので安心しました。2試合目からは1組の心強い応援団たちが、たくさん増えたので、これは負けられないなと思い、一生懸命がんばりました。その後も、みんなと力を合わせて順調に勝ち進んでいくことができました。そして決勝まで来られました。人が尋常じゃないほどいて緊張したけど、みんなが応援してくれていると思ってがんばりました。疲労困憊すぎて大変だったけど、最後にみんなで優勝するため、全力を出し切りました。結果優勝することができました。優勝した瞬間、みんなが駆け寄ってきて、一緒に喜んでくれたことは忘れません。最高に楽しかったです。（寺崎 志摩）



2 バドミントン〔3年2組〕

私たちは高校生活最後のクラスマッチなので、優勝を目指していました。クラスマッチに向けての準備は、三年生ということで受験もあり、なかなか全員で集まっての練習はできませんでした。しかし、各自で練習を行い、技術向上に努めました。本番当日は、バドミントン経験者と対戦することもありました。私たちは全員未経験者でしたが、ポジティブマインドを持ち、互いに声をかけ合うことで難しい試合も勝つことができました。また、当日はバドミントンのメンバーだけでなく、先生やクラスメイトも応援に来てくれたことがとても力になりました。たくさんの人に応援してもらい、優勝できてとても嬉しかったです。最後のクラスマッチに最高の思い出ができました！（青木 奈々）



3 バレーボール〔2年6組〕

年に一度しかないこのクラスマッチで、バレーボールで1位を取れたときは、強い安堵と喜びの気持ちがこみ上げてきました。自分はクラスマッチの競技にバレーボールが追加されると聞いた日から、バレーボールに参加することを決め、優勝するにはどうすれば良いかを考えました。特に悩んだのがバレーボール部員と男子のスパイクは禁止というルールで、点の取り方が難しくなると感じました。クラスマッチ当日は、試合前にみんなでボールを使ってレシーブやトスの練習をして、全員が楽しめるバレーボールになるようにしました。勝てるかギリギリの試合もありましたが、何とか優勝することができたので良かったです。当日朝の準備も含めて、最高的一天になりました。（海野 友哉）



4 卓 球〔2年1組〕

クラスマッチの卓球で優勝できたことは、私たちにとって非常に嬉しい出来事でした。初心者と経験者が共に力を合わせて励まし合い取り組めたことが、今回の結果につながったと思います。クラスマッチ当日は緊張しましたが、コートに立つと、その緊張感がエネルギーに変わり、全力でプレーすることができました。特に印象に残っている試合は、決勝戦です。お互いに一步も譲らない展開が続き、何度もリードを奪い合いました。その中でも冷静を保ちながらプレーをしました。最後、点数をリードしたまま終わりのブザーが鳴り、喜びが一気に押し寄せ、仲間とハイタッチをしました。クラスマッチを通してチームワークや友情の大切さを改めて知ることができました。（久保田 椎那）



5 オセロ〔1年6組〕

私たちは、オセロに出場しました。チームのみんなで一致団結し、優勝できて良かったです。

試合当日までは各自で練習をし、本番を迎えました。本番では、一人一個ずつオセロを置いていくルールだったので、プレッシャーもありながら試合をしました。

1回戦からとても接戦でしたが、その後も勝ち進むことができ、決勝が近づいてくると緊張感が高まってきました。

静かな体育館で行われた決勝戦は、これまでの雰囲気とは違った試合でした。結果を聞くまでは、勝敗がわからずドキドキでした。優勝が決まった時には、応援に来てくれていたクラスのみんなを含め、全員で喜びを分かち合えて嬉しかったです。

クラスマッチを通して、クラスのみんなとの絆がより深まったと思います。高校生活の中でまた一つ、忘れられない思い出ができました。（曾澤 心菜）



6 大縄跳び〔3年6組〕

私たちは高校最後のクラスマッチの大縄跳びで団結力を見せ、1位を取ることができました。6組は唯一の理系のクラスなので、2年生からクラス替えがなく、しかも去年の大縄跳びでも好成績を残していたため、メンバーは練習から気合を入れて臨んでいました。最初の練習では連続5回を超えるのも一苦勞でした。受験生ということもあり、練習時間の確保が難しいことや体育以外での運動離れによる体力の低下などのハンデもありましたが、朝練などでできるだけ練習をして本番を迎えました。本番では最初から10を超える数を跳べ、そのままの流れでほとんど引っかかることなく、時間いっぱいまで跳び続けることができました。競技中はクラスの皆からの応援や、引っかかってしまった時に励ます声が多く聞こえ、クラス一丸となっていることが強く感じられました。練習の成果がしっかり発揮できたこと、そして結果としてそれが表れたことがとても嬉しかったです。

(藤田 彩愛)



7 玉入れ〔3年3組〕

私たち3年3組は、玉入れの種目で1位を取ることができました。玉入れの練習をすることはなくクラスマッチ当日を迎えることになったので、不安や緊張がありました。チームのみんなと声をかけ合い、入れる玉がなくなりそうなほどカゴに玉を入れることができました。また、表彰式まで結果が分からないので、不安でいっぱいでしたが、1位と呼ばれた時にはとても嬉しかったです。

今回のクラスマッチを通し、私たちのクラスは一致団結し、より仲を深めることができました。学校行事はこれで終わってしまいましたが、これからは各々の進路実現のために、お互いに支え合って受験勉強を頑張り、残りの高校生活を大切に過ごしていきたいと思っています。（和地 愛莉）



8 綱引き(1年)〔1年3組〕

練習せずに一発本番で挑んだ綱引き。午前中は得点を稼ぐことができず、午後の最初の種目は、3組全員が気合いを入れて臨みました。綱引きに参加しないクラスメイトも応援をしてくれて、クラス全体で団結することができました。また、副担任の菅井先生から、もっと上を向いた方が良いというアドバイスを頂けたお陰で、それが大きな力となり、より集中して試合に臨むことができました。勝ち進んでいくと、自分のクラスだけでなく、他クラスまでもが、アドバイスや応援をしてくれて、強い励みとなりました。その結果、皆の心の中にあった“勝ちたい”と言う思いが次第に強くなり、1位になることができました。

この綱引きを通して、クラス内での仲をより深め、団結力を高めることができました。また、それと同時に、学年で1つの目標に向かって思いを1つにすることができ、とても意義のある心に残る思い出となりました。（小松 絵里香）



9 綱引き(2年)〔2年2組〕

2組の普段の生活の様子はおとなしく、休み時間の教室はほとんどの生徒が席に座っていてとても静かです。私は、勉強や部活で忙しいクラスみんなにあまり負担をかけたくないという思いからクラスマッチについての話し合いなどをあまりせずに、それぞれの種目だけを決め、当日を迎えてしまいました。午前中の種目は初戦敗退や優勝には届かないものがほとんどでいつもの静かな2組で終わってしまうのではないかと不安な気持ちが芽生え、代表としてクラスのために何をするのが正解だったのかと考える瞬間もありました。しかし、円陣を組み、初戦に挑むと一勝し、そこから負けることなく勝ち進んでいきました。このような結果に正直驚きましたが、一大イベントのクラスマッチでみんな喜び、素敵な思い出の一つになったことはとても嬉しく思います。また、貴重なイベントであるクラスマッチを開催し、膨大な準備を行ってくれた生徒会の皆さんや携わってくれた方々に感謝しています。

(相馬 愛海)



10 綱引き(3年)〔3年1組〕

クラスマッチは学校生活の中で特別な一日で、今年のクラスマッチも素晴らしかったです。一日中、生徒は競技に取り組み、協力と競争の精神が満ち溢れました。

綱引きでは、全体で一度も練習をしたことがなく、不安なまま当日を迎えました。どのようにしたら最大限の力を出せるかをみんなで考え、競技に参加する人も、しない人も全員が一致団結しました。競技中も声をかけ合い、とても良い雰囲気だったと思います。結果、見事1組は1位をとることができました。勝利した瞬間、全員が喜びあったあの景色は、今でも忘れられません。

クラス全員が一生懸命に取り組んだクラスマッチ。高校生活の中で、かけがえのない思い出となりました。(鈴木 優奈)



11 リレー〔2年1組〕

高校で二度目のクラスマッチ。リレーは誰かが立候補するはずもなく、単純に足が速い人が選ばれた。ただ間違いなくクラスマッチで一番盛り上がる競技だ。幸いなことに私は4走目だった。とりあえず朝練を試してみたものの、バトンパスが上手くいかず、何度も練習をし、なんとか形になった。そして本番の日。私は朝から緊張しっぱなしだった。ついにリレーの時間。一年生が走っている中、緊張しすぎて本当に吐きそうだった。いつの間にか二年生の番になり、スタートした。一、二、三走まで一位をキープしてくれて、自分の番になった。走っている間は本当に記憶がなかった。上手く次の人にバトンがまわった。アンカーの人に渡し、最後はみんなで走った。結果、一位でゴール。表彰で呼ばれた時は、まさか呼ばれると思わず、本気で喜んだ。総合順位でもクラスみんなの活躍で二位。私にとって最高のクラスマッチだった。(菅谷 真麻)



12 総合優勝〔3年1組〕

私たち3年1組は、高校生活最後のクラスマッチで念願の総合優勝を獲得することができました。

競技選択の際には、一人一人の能力が発揮できるよう、バランスよく種目を選択しました。体育の授業の1限の短い時間で、それぞれが熱心に練習に取り組みました。

本番当日、午前の部は練習でうまくいったけれども、本番では力を出し切れないことがありました。しかし、まだ勝ち進んでいる競技の応援やサポートをすることで団結しました。午後の部では、昼休み中に必勝法を話し合い、応援にも競技にも全員が全力を出し切りました。各種目苦しい部分もあったけれど、一人一人が声を掛け合いながら、競技を楽しく行うことができました。

表彰式の写真撮影の際には、担任の塚本先生、副担任の助川先生を胴上げし、みんなで喜ぶことができて、良い高校生活の思い出となりました。

(高野 心優)

